

タイトル『また、同じ夢を見ていた。』

著者：住野 好

出版社：双葉文庫

先生、頭がおかしくなっちゃったので

今日の体育を休ませてください。

主人公のこの不思議な一言から始まるこのお話。主人公、柳奈流(私)は本を読むのが大好きな、って普通の学生です。「私」は放課後、バスレ

さんやおばあちゃんの家を訪ねます。バスレさんは「本」を売るお仕事を

兼ねておられます。おばあちゃんも美味しいモドレーを焼いてくれる素敵なおばあちゃん

私は二人が大好きです。ある日、「私」二人を訪ねますが、どちらも不在です。

あきらめて、いつもとは違う道を歩きます。その先には石のような建物がありました。登ってみると...?

このお話のおもしろいところは時々「奈流」が人生を比喩するところ

「人生はアイリンみたいなものでこをね」

「人生とはかき氷みたいなものよ。」

「人生とは自分で書いた物語だ。」

この次に人生文はなんでしょ、

ぜひ読んでみて確かめてください!

「住野好さん」
「君の膝枕を食いたい」
「か」「く」「し」「ご」「と」
など、読みやすく面白い本が多いです。
おすすめですよ!

投稿日 2023年 11月 9日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

@ デーランド (Mii)

年齢

13

仙台市 市民図書館 YAコーナー